

自主防災ニュース Vol.4

今回は災害時における安否確認の方法についてです。

地震はいつ起こるかわかりません。

家族全員が家に揃っている時ならいいのですが、お父さんは会社、お母さんはパート、お兄ちゃんはアルバイト、お姉ちゃんは高校、妹は中学校、弟は小学校に行っている時間帯に大地震が起こるかも？！

さあ、皆さんは家族と非常時の安否確認について日頃からちゃんと話し合っていますか？？

早速チェックしてみましょ。



① 前もって集合場所を決めておく

「外出時に災害に遭ったらここで集合ね」と普段から家族で話し合っておきましょう。

例えばまずは家に帰ってみる。

もしも家が半壊や全壊で入れない状態になっていたら避難所（枚方小学校または青少年センター）に集合する、などと具体的に決めておく。

② 災害伝言ダイヤル(☎171)を利用する

災害時には固定電話・携帯電話は繋がりにくくなります。

消防・救急・警察などの緊急電話や公衆電話の回線が優先されるためです。

非常時には不要不急の電話は控え、災害伝言ダイヤルを利用するようにしましょう。

☎171にかけて、ガイダンスに従って電話番号（固定・携帯・PHS）をダイヤルすると、音声メッセージを録音できます。

録音されたメッセージは同じ☎171にかければ再生することができます。

（1伝言30秒以内、20件まで録音可能 それ以上になると古いものから消去されます）

前もって「自宅の固定電話の番号を使おう」などと家族で話し合っておくことが大切です。

毎月1日と15日には災害伝言ダイヤルを体験利用することができます。一度試しておきましょう！



③ LINEなどのSNSを利用する

LINEは電話回線がパンクしていても、インターネット回線さえ繋がっていればやり取りができます。

予め家族などでLINEグループを組んでおけばスムーズに安否確認ができます。

また、スマホの位置情報機能を使って、自分のいる場所や集合場所を正確に伝えることができます。

④ 災害用伝言板(web171)を利用する

スマホ・ガラケー・パソコンなどから電話番号をキーにして、定型文や100文字以内のテキストで自分の安否を登録できます。

登録された伝言は、電話番号をキーにして、全国から閲覧することが可能です。

こちらのサービスも電話番号がキーとなりますので、どの番号を使うか予め決めておきましょう。

⑤ ガラケー・スマホのメールやショートメッセージ(SMS)を利用する

東日本大震災の時には安否確認のメールが遅延したということもあったようです。

他の連絡手段と併用することも考えておきましょう。

